

基本目標3 高齢者が地域社会に参画する仕組みをつくる

(1)多様な地域活動への支援

①社会資源の整備(地域活動への参加を促すための環境整備)

○公民館の活用促進

【第8次計画取組内容】

自治会及び関係機関と協力し、公民館が、高齢者を含む多様な人々が活用できる「場」となるよう、引き続き周知していきます。

【取組と評価】

各地区公民館で様々な講座やサークルが活発に行われており、自治会・公民館公式 LINE 等により活動の情報発信をしています。

取 組	評 価
公民館の活用促進	B

※評価基準 A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:大幅に遅れている

【現状と課題】

公民館を利用する人の固定化が課題となっています。また、歩いて公民館まで行けず、社会参加の機会が失われる高齢者が増えています。

【今後の取組】

継続して取り組みます。

○生涯学習の促進と学習成果の活用

【第8次計画取組内容】

学習の場が、生きがいづくりだけでなく、町民同士の交流の場、見守りの場となっているため、新規参加者が増えるように講座内容を工夫し多様な学習機会の提供・充実を図っていきます。また、高齢者の豊かな経験や技能を伝承する取組が、地域の活性化だけでなく教える高齢者の生きがいづくりにもつながることから、各地区で行われている各種活動の見える化やマッチングに取り組みます。

【取組と評価】

生涯学習プラザと各地区公民館において、スマホ講座を含む多様な講座を開催しました。受講後、サークル活動として継続している事例もあります。

地域のまつりや生涯学習まつりなどでの発表の場が、高齢者の生きがいになっています。

取 組	評 価
生涯学習の促進と学習成果の活用	B

※評価基準 A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:大幅に遅れている

【現状と課題】

地区公民館、生涯学習プラザ、老人福祉センター等を活用して生涯学習の促進に資する様々な活動が行われています。

【今後の取組】

新たな講座開催など、サークル活動者を増やす取組に努めます。また、高齢化の進展に伴い、高齢者のデジタルデバイド対策がより重要となってくるため、スマホ講座の継続等に引き続き取り組みます。

○老人福祉センターの活用促進

【第8次計画取組内容】

老人福祉センターが、「きょういく・きょうよう(教育:今日行く用事がある・教養:今日用事がある)」の場として活性化し、高齢者の通いの場・生きがいづくりの場となるよう工夫していきます。また、男性が利用しやすい取組を充実させていきます。

【取組と評価】

老人福祉センターにて各種サークル及び教室が開催され、高齢者の通いの場・生きがいづくりの場・健康増進の場として活用されています。また、男性が利用しやすい取組として、「男性貯筋クラブ」を実施しています。

取 組	評 価
老人福祉センターの活用促進	B

※評価基準 A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:大幅に遅れている

【現状と課題】

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機にサークル活動が停滞傾向にあることが課題となっています。

【今後の取組】

継続して取り組みます。

○高齢者の活動・交流の場の充実強化

【第8次計画取組内容】

関係部署と連携して、高齢化率の高い地域の公園に健康遊具を設置するなど、環境の整備と充実を検討していきます。そのほか、整備が予定されているパークゴルフ場(砂辺区)についても、設置後の活用を推進していきます。

町民農園や、区で活用している農園等、農作物を作る場と出品する場があることで、町民同士の交流や生きがいづくりの場にもなっているため、それらの活用を促進し、引き続き「生きがい農業」に取り組みます。

【取組と評価】

「奈留川西公園」の整備においては、ウォーキングで利用しやすいよう園路の舗装整備や、利用者が休憩し交流するための東屋を設置しました。

町民同士の交流や生きがいづくりの場となっている町民農園については、全ての区画が契約済みとなっています。

2023(令和5)年4月に開設したパークゴルフ場においては、高齢者が利用しやすいよう料金を割引しています。

取 組	評 価
高齢者の活動・交流の場の充実強化	B

※評価基準 A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:大幅に遅れている

【現状と課題】

高齢者の活動・交流の場が十分整備されており、有効活用されています。今後は、高齢化率の高い地域への新たな健康遊具の設置等、高齢者の活動・交流の場の充実強化を図るための取組を進める必要があります。

【今後の取組】

継続して取り組みます。

○道路の整備促進

【第8次計画取組内容】

高齢者が積極的に社会参加しやすいよう、道路整備を推進します。東部地域等一部地域では、狭小道路や取り付け道路に段差がある区域があり、介護サービスの利用に課題が残されているため、引き続き整備に向けた調整を行います。

【取組と評価】

2022(令和4)年度謝苅中央線改良工事では、同路線の一部において道路幅員を拡幅し、歩道幅員も改良しました。

取 組	評 価
道路の整備促進	B

※評価基準 A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:大幅に遅れている

【現状と課題】

改善が必要な道路に私道が含まれている箇所があり、修繕も含め、私道管理者による適切な維持管理を促す必要があります。

【今後の取組】

継続して取り組みます。

(2)地域で活動する場及び人材の確保とコーディネート

①地域で活動する場と人材の確保とマッチング

○地域の新たな担い手としての役割の周知と参画促進

【第8次計画取組内容】

退職した世代が地域活動に参画しやすい仕組みづくりのため、各地区等で行われる多世代交流の取り組みを支援します。具体的には、より若い世代から地域活動に参画するきっかけを作ると同時に、高齢者の知識や技能を活かした講座や事業等の実施を支援し、各種取組の周知を図ります。

【取組と評価】

多世代交流に取り組む自治会を地域プラン補助金及び公民館活性化事業により支援しています。

取 組	評 価
地域の新たな担い手としての役割の周知と参画促進	B

※評価基準 A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:大幅に遅れている

【現状と課題】

社会生活アンケートの結果(問4:p.80)によると、社会活動について「参加していない」と回答した人は25.8%を占めていることから、引き続き多様な地域活動への参画促進が必要です。

【今後の取組】

継続して取り組みます。

○自身が活躍できる“場”の見える化と周知

【第8次計画取組内容】

退職した男性や地域活動に参加しづらい方が、公民館に足を運ぶきっかけとなり得る、講座や地域活動の実施を支援するとともに、その取組を周知します。

若い世代から地域活動に参画しやすいよう、活動できる場の見える化や、情報発信に取り組みます。

また、町民がボランティアを身近に感じられるよう、SNS 等を活用して情報を幅広く発信していきます。

【取組と評価】

みつばち手帳を活用し、高齢者が活躍できる場の見える化に取り組んでいます。

取 組	評 価
自身が活躍できる“場”の見える化と周知	B

※評価基準 A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:大幅に遅れている

【現状と課題】

地域活動や学校、社会教育分野など様々な場で支え手を必要としていますが、情報が点在しており、その集約が課題です。

【今後の取組】

みつばち手帳を更新し、地域を支える場の情報集約に取り組みます。

○地域を支える場と人とのコーディネート支援

【第8次計画取組内容】

地域活動や生活支援の場など、人材を必要としている場と高齢者のマッチングを支援するため、就労的活動支援コーディネーターの配置について検討し、人材不足の解消を図るとともに、高齢者の生きがいづくりを支援します。

【取組と評価】

2023(令和5)年度に就労的活動支援コーディネーターの配置を検討しましたが、現在配置している生活支援コーディネーターの役割を整理し、体制強化を図ることにより就労的活動支援コーディネーターの役割も兼ねられることから、現在は生活支援コーディネーターを2名配置しています。

取 組	評 価
地域を支える場と人とのコーディネート支援	B

※評価基準 A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:大幅に遅れている

【現状と課題】

人材を必要としている場と高齢者コーディネート支援については十分に取り組めていません。

【今後の取組】

地域を支える場と高齢者のコーディネート支援について、生活支援コーディネーターによる取組を強化します。

②シルバー人材センターとの連携

○シルバー人材センターとの連携

【第8次計画取組内容】

シルバー人材センターと連携して高齢者が年齢を重ねても個々の特性に合わせて「生きがいを得るための就労」を長く継続できるよう取り組みます。

【取組と評価】

高齢者就業機会確保事業補助金の交付のほか、一部の業務をシルバー人材センターに委託しています。また、高齢者が必要とする生活支援についてシルバー人材センターと連携して取り組めるよう、生活支援体制整備事業第1層協議体で検討しました。

年齢を重ねても長く生きがい就労を続けていけるよう、講師を派遣し、会員向け健康講話を実施しています。

取 組	評 価
シルバー人材センターとの連携	B

※評価基準 A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:大幅に遅れている

【現状と課題】

働き手不足や定年延長・撤廃により、会員加入時の年齢が年々上昇しています。会員の高年齢化により、就業上の配慮を必要とする会員の増加が予測されます。

【今後の取組】

会員が生きがい就労を続けられるように、また、生活支援を必要とする住民とシルバー人材センターで提供できる業務のマッチングについて継続して取り組みます。